

大樹

みなさま
お変わりなく
お元気ですか

第17号

令和3年2月吉日
発行

香川県立保健医療大学同窓会翠丘会

すいきゅうかい

〒761-0123 香川県高松市牟礼町原 281 番地 1
TEL (087) 870-1212 (代)



たいせつなもの

翠丘会会長
松原 文子 (高松市社会福祉協議会)

香川県立保健医療大学同窓会会員の皆様へ
日頃より、本会の発展及び円滑な事業・活動の実施につきましてご理解ご協力をいただき、誠に有難うございます。

令和2年は、1月の武漢での新型コロナウイルス感染症発見から、瞬く間にパンデミックとなり、未だ収束が見えない中、会員の皆様方にとりましても苦しい一年であったことと存じます。また、本会の活動も感染拡大防止のため、大学祭への参加中止や様々な研修活動の縮小等、大幅な活動縮小とならざるを得ませんでした。また、本来であれば本年5月に開催予定の第10回翠丘会(同窓会)総会・記念講演会につきましても、開催中止を予定しております。そのような中、こうして年に1回の機関紙「大樹17号」で、皆様方と繋がっていることを、改めて感謝いたします。

さて、最近心に浮かんだ短歌があります。

「銀も金も玉も なにせむに 勝れる宝 子にしかめやも」

(山上憶良)

皆様も、よくご存じの短歌ですね。私事で恐縮ですが、昨年はコロナ禍で、県外の息子家族に会えず、孫の運動会も見ることが出来ませんでした。夫の介護施設の面会も週末のガラス越しの僅かな時間です。おそらく皆様方も同様に、大切な人々と会えない我慢をして過ごされているのではないのでしょうか。

最近、内館牧子著の「すぐ、死ぬんだから」を読みました。還暦を過ぎた中で、使う予定のない品々や心の中の諸々も、片付け

ようと決心した矢先に、健康診査で人生初の動脈硬化の兆候が…食事や運動などの自己摂生だけでは防げない老いを改めて悟りました。整然と潔い生活に憧れつつも、「衰退」を緩やかに受け入れるのは、よくよく難儀なことだと実感します。ところが、老化は病気であり、治療対象であるという考え方があることを知りました。DNAの修復促進物質を増やし老化予防、更には若返りの薬も開発されているようです。

一方で、人生百年時代。人口10万人あたり、百歳以上が63.76人。全国で百歳以上の人が8万450人(内、女性が88.2%)。平均寿命は男性81.41歳、女性87.45歳という長寿の時代に、いかに尊厳ある死を迎えられるだろうかと悩みます。ひと一人がこの世を去ることは、家族や周りを巻き込んで様々な思いを残すことになります。

だが、やっと気づきます…。いくら悩んだところで仕方がない。詰まるところ、先を慮るのではなく、毎日を丁寧に生き、大切な人を愛して、次世代の人々に心からの親愛を込めて希望を託すことにします。

人類が、幾度もペストやコレラなど様々な感染症を克服し医学や公衆衛生が進歩してきたように、未来に希望を持ち続けたいと思います。

最後に、本同窓会の運営にご尽力してくださっている大学関係者の皆様方に心よりの感謝を申し上げますとともに、会員の皆様方の心と生活の安寧をご祈念申し上げましてご挨拶とさせていただきます。共に頑張ってみましょう。



卒業後の「ゆるい絆」が与えてくれたもの

保健医療学部
看護学科 2 回生
高松市地域包括支援センター
山崎 憲明

私は卒業後、10年以上経過しましたが、未だに大学でお世話になっています。保健師として働く卒業生の集まりに『根若会』があり、同窓会のご支援を頂き活動しています。『根若会』は、“根性のある若者でありたい”という願いを込めて結成され、年2～3回、研修や事例検討などの勉強会をしています。コロナ禍の現在は、メンバー同士は会での繋がりを活用し、情報交換したり、励まし合ったりしています。

会への参加自体、大きな学びなのですが、同じくらい大切なものを私は会から得ています。それは「ゆるい絆」です。年に数回顔を合わせるだけのこの会での絆が、私の職業人生を大きく変えました。

まずは先輩後輩との絆です。他自治体の保健師と本音を言い合えるので、業務がスムーズに運びます。さらに、驚くほ

ど成長している後輩の姿を見て、『うかうかしてられない』とモチベーションアップにも繋がりました。

また、大学の先生方とも繋がりが続き、特に、根若会がきっかけで入った大学院は、私を大きく変化させました。仕事をしながらの大学院生活は大変でしたが、研究と、先生方との新しい絆で、物事を探求する大切さを学びました。

さらに、考え抜いた企画がコロナの影響で頓挫したときも、同期に講師を依頼し、コロナ禍をテーマにした内容に変更し、対応できました。卒業後もずっとゆるい絆があったからこそできた、コロナ禍を逆手に取った発想でした。

たまに、根若会より遊びに行きたいと思うときもありました(笑)。しかし、10年を振り返ると、この絆が無ければ、戸惑うばかりの私になっていたでしょう。コロナ禍で人との繋がりが薄れ、『待ちの姿勢に成長はない』時代になったように感じます。こんな時にこそ、ゆるい絆が生きてくると感じています。根若会も新しい繋がり方でリモート開催なども取り入れながら、絆を紡いでいきたいです。



地域で母子に寄り添う助産師を目指して

助産学専攻科 6 回生
さぬき市民病院
中尾 悠

私は、香川県立保健医療大学では、看護学科・助産学専攻科を卒業し、さぬき市民病院に助産師として勤務して3年目になります。

私が就職して1年目の時に分娩休止が決定しました。知識・経験不足の中で今後どうなっていくのだろうと不安を感じました。助産師としてお産をやりがいとして心から感じられる程、経験できておらず、助産師としてどうなりたいのか考えるきっかけにもなりました。半年間、香川大学医学部附属病院でハイリスク妊娠の管理などを学ばせていただき、ほっこ助産院では助産師主体の分娩を経験することができました。また、香川県内の看護協会や多くの施設のご支援により、セミオープンシステム・助産師外来・産褥ケア事業・母乳外来・安産教室・ハーフバースデイ・1歳お誕生日会・助産師による家庭訪問などを新たに始動しました。また、今年1月より院内助産開始に向けて日々準備しているところです。

分娩休止前は外来で妊娠中に助産師が関わることが少なかったですが、助産師外来や院内助産の開設により妊娠期から信頼関係を構築でき、分娩期・産褥期・育児期と包括的に関わることができるようになりました。さぬき市民病院での院内助産を希望してくれている妊婦さんとそのご家族さんに寄り添い、お産という人生の貴重な時間をより大切なものにするためにはどうしたらよいかと助産師みんなで考えています。新型コロナウイルス感染症の流行により、希望するお産が出来ず、負担を感じさせてしまうこともあり、とても心苦しいですが、そんな中でも「ここで産んでよかった」と思ってもらえるように寄り添っていきたくと考えています。

今、助産師としてやりがいを持って働くことができています。助産師の仲間と一緒に分娩だけではない助産師としての役割を見出し、分娩休止を乗り越え院内助産開設に漕ぎつけたことで助産師として成長できたと感じています。さぬき市民病院、他施設の応援、地域の方の声に感謝し、これからも助産師として頑張っていきたいです。



臨床現場での経験を踏まえた大学院における看護の探求

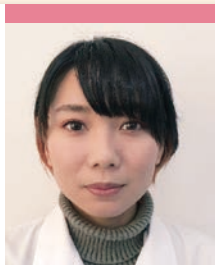
保健医療学研究科
看護学専攻
博士前期課程1年
濱田 有紀

香川県立保健医療大学看護学科を卒業し看護師となつて5年経ち、新人指導やリーダー業務などを行う中でさらに看護のことを学びたいと思い、保健医療学研究科へ進学しました。早いもので1年が経とうとしています。

入学式の少し前より新型コロナウイルスが流行しだし、これからどうなっていくのだろうという不安がありました。講義は状況をみつくりリモートや対面で臨機応変に行うこととなり、慣れないながらも皆で協力しあい講義を受け続けることができました。講義では看護の奥深くを探究する内容であり、看護の楽しさや奥深さ、難しさを改めて認識し理解を深めることができました。また、講義では自分の経験や考えを発信し院生同士でディスカッションを行うため、自分の看護を言葉で表現し説明する力が付き、看護のことをより深く分析し理解する力がついたと思います。院生は自

分を含め7人であり、働く場所も内容もそれぞれ異なり、講義内でも講義外でもお互いの仕事や看護観について話し合う中で多様な看護観に触れることができ刺激となりました。

臨床現場はというと、新型コロナウイルスの流行により医療現場の体制も変化が多く、戸惑うことも多い一年でした。面会の規制により患者様やそのご家族の方へのケアの方法も臨機応変に変化させています。医療現場というものは状況に応じ常に流動的に変化していくものではありませんが、この一年はそれが顕著であり、このストレスフルな状況に対する看護師一人ひとりの想いの違いもあり、私自身うまくいかないもどかしさを感じていました。しかし、皆で話しあい協力しあい、前を向いています。このような状況だからこそ看護師一人ひとりが力を発揮し、チームで団結すればより良い方向に進むことができると思います。いつまで続くかわからない、先の見えない状況ですが、大学院での学びを生かし看護の力を信じて患者様により良いケアを提供していけるよう努力していきたいです。



大学院での取り組み

保健医療学研究科
臨床検査学専攻
博士前期課程1年
沖藤 水咲

私は保健医療学部臨床検査学科を卒業後、自分自身の知識や選択肢を広げるため、希望の研究ができる本学の大学院に進学致しました。

大学院の講義では、与えられたテーマについてプレゼンテーションを行い、その内容について他の大学院生とディスカッションをする学生主体型な講義が主になりました。私はプレゼンテーションが不得意なため、伝える能力を身につけ理解してもらえるように努力しています。また、1年生の後期には看護学専攻の大学院生と合同の講義がありました。看護の世界や知らなかった制度など多くの知識を得る機会になり、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。

研究では論文から情報を集めながら仮説を立て、実験を進めています。仮説と異なる結果を得た際は、多面

的な物事の見方を御指導賜っている先生方より学ばせていただきました。今後たくさんの論文を読み、自身の知識の幅を広げ研究に役立てていきたいと考えております。

大学院生活も折り返しに近づきましたが、入学当初は新型コロナウイルスの蔓延により大学に行くことができませんでした。自粛生活の不安の中で、論文を読むなど自身で出来ることをしながら過ごしました。自粛が解除された初日は、当たり前を感じていた登校がこんなに嬉しいことなのだと改めて強く感じました。最初は大学に滞在できる時間にも制限があったので、限られた時間の中で進められる実験を組み立て研究に取り組みました。

今後も多くのことを学び、修了までの時間を有効に使いたいと思います。

まだまだコロナ禍ではありますが、1日も早い終息と皆様のご健康をお祈り申し上げます。

拙い文章を最後までお読みいただき深謝致します。



大学院教育の拡充について

学長 井伊 久美子

香川県立保健医療大学は、時代の要請を受け、医療の高度化や複雑多様化する人々のニーズに応えるべく、平成16年4月に保健医療学部看護学科、臨床検査学科2学科の構成で開学しました。平成21年4月には、大学院保健医療学研究科を開設し、修士課程教育を開始しました。そして、平成29年4月には、大学院保健医療学研究科に博士後期課程臨床検査学専攻を、平成31年4月からは、博士後期課程看護学専攻の教育を開始しました。

これまで教育体制を充実できたことは、多くの関係の皆様のご支援の賜物と感謝しております。

さらに看護学教育については、地域社会が求める高度な専門性と実践能力を備えた看護職の育成のため、令和2年度看護学科入学生から学部4年間での看護師教育を開始し、令和4年度からは、保健師と助産師の教育課程を大学院で行うこととしております。地域包括ケアや女性の健康支援、虐待・災害、新型感染症等の社会のニーズに対応できる保健師・助産師育成のため本学の大学院教育は大きく拡充することとなります。

今後とも、地域の保健医療専門職の拠点として機能するべく、しっかり研鑽を重ねたいと考えております。ご支援ご指導いただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

第2回 県知事意見交換会

事務局次長 西村 浩

令和2年8月26日（水）に、本学において、「「県政について話そう」知事意見交換会」が開催され、知事が、本学の校内を視察し、その後、看護師や臨床検査技師などを目指す学生11名と意見交換を行いました。

校内では、厚生棟、講義棟、教育研究棟を視察し、井伊学長より、校内における新型コロナウイルス感染症対策や令和4年度に予定している保健師・助産師課程の大学院化に係る施設について、説明しました。

その後、「保健・医療の専門職として目標とする姿」、「就職やその後のキャリア形成について考えていること」、「大学の魅力向上に必要なこと」などについて、自由、活発な意見交換がなされ、大変有意義な一時を過ごすことができました。

最後に知事から、「新型コロナウイルス感染症の影響で、実習の機会が少なくなりましたが、どこに就職しても、日本の医療の素晴らしさを引き継いでもらいたい」と、学生に激励の言葉をいただくとともに、「県としても、「NOコロナハラスメント」運動に取り組んでおり、学生の皆さんが安心して働けるように取り組んでいきたい」と述べられました。

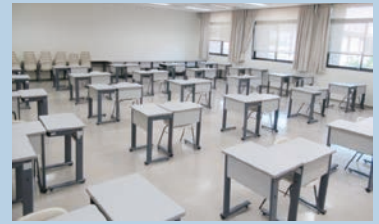


▶ コロナ対策

看護学科 教授 松村 千鶴(翠丘会副会長)

令和2年度は新型コロナウイルス一色の1年となりました。大学では感染の影響で、大学行事の縮小化、中止、延期等、例年通り実施されたものはごく僅かでした。一方、大学の授業では、密集、密接、密閉の3密を避けるための対策がとられていました。例えば、4月、5月は遠隔授業の導入、時間割や教室の変更を余儀なくされ、6月1日からの対面授業においては、70名以上は大講義室、体育館を利用し、30名前後の場合は各教室を利用し、学生はマスクをつけ他者との距離を保ちながらの授業を受けていました。その他、学内では学生食堂、図書館等の利用時、アルコール手指消毒、飛沫感染防止間仕切りの設置等、感染拡大防止の対策がとられていました。さらに、学生には感染拡大のリスクを高めるような行動を慎み、体調管理に努めるよう注意喚起もされていました。

このように、例年とは異なる状況のなか学生は状況に戸惑いながら、目的・目標に向かって学生生活を送ることができています。



Webオープンキャンパスの実施

広報・公開講座委員長 看護学科 教授 松村 恵子

2020年度オープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Webオープンキャンパスを2回(8月1日、9月12日)開催しました。今年度は、学長挨拶、看護学科・臨床検査学科の紹介、令和3年度入学試験の説明に加え、新しい企画として両学科4年の有志6人が学生目線で作成した「キャンパスツアー動画」による施設設備の案内、授業や学生生活の実際を紹介しました。参加者からは『キャンパスツアーの動画が特に印象に残りました。いきいきとした学生がとても印象的で、このような充実した環境で学びたいと強く感じました』等、多くの好評が得られました。「ウィズ・コロナ」を生きるための思索の日々で、在学生たちの熱い思いを込めた動画が参加者の心に響いて受験、合格へと繋がると嬉しく思います。



お知らせコーナー

令和元年度から始まりました同窓会によるクラス同窓会開催助成金の令和元年度の助成は5件でした。令和2年度はコロナウイルス感染拡大のため難しいと思いますが、治まりましたらぜひご利用ください。手続等は副会長 松村 千鶴(大学)までお問合せください。

令和3年度香川県立保健医療大学翠丘会(同窓会)総会についてのお知らせ

令和3年度6月の開催に向けて準備をしておりましたが、コロナウイルス感染拡大のため、1年後の令和4年度の開催を目指すことになりました。会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、感染が落ち着き、皆様と笑顔で集うことができますよう開催方法を検討したいと考えておりますので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

令和元年度収支決算

令和2年度収支予算案

収入の部			
	元年度予算額	元年度決算額	内訳
会費収入	1,473,000	1,497,000	新入会員 63 名 利子等
雑収入	500	16	
繰入金	960,156	960,156	
積立金からの移動	1,000,000	1,000,000	同窓会名簿売上金
その他	0	10,500	
合計	3,433,656	3,467,672	
支出の部			
会議費	260,000	226,690	総会 1 回
(1) 総会	160,000	147,890	
会場代	10,000	0	
講演費	100,000	50,000	総会花代、総会資料郵送代、講師交通費等 役員・評議員会 2 回
軽食代	30,000	29,454	
雑費	20,000	68,436	
(2) 役員会	100,000	78,800	役員・評議員会 2 回
旅費	40,000	34,000	
軽食代	60,000	44,800	
事業費	420,000	525,476	総会資料印刷・郵送代、監査報告書郵送代等を含む 同窓会封筒印刷 入学式アルバイト代
(1) 会報誌発刊	420,000	525,476	
(2) 同窓会名簿作成	0	0	
(3) 記念品作製	0	0	総会資料印刷・郵送代、監査報告書郵送代等を含む 同窓会封筒印刷 入学式アルバイト代
事務費	340,000	335,278	
(1) 通信費	300,000	316,278	
(2) 消耗品	20,000	15,000	総会資料印刷・郵送代、監査報告書郵送代等を含む 同窓会封筒印刷 入学式アルバイト代
(3) 雑費	20,000	4,000	
入学式	7,000	1,000	
(1) 旅費	7,000	1,000	総会資料印刷・郵送代、監査報告書郵送代等を含む 同窓会封筒印刷 入学式アルバイト代
卒業式	307,000	214,695	
(1) 旅費	7,000	0	
(2) 記念品・花束	300,000	214,695	総会資料印刷・郵送代、監査報告書郵送代等を含む 同窓会封筒印刷 入学式アルバイト代
大学支援金	1,100,000	764,710	
その他	907,200	977,200	
支出小計	3,341,200	3,045,049	総会資料印刷・郵送代、監査報告書郵送代等を含む 同窓会封筒印刷 入学式アルバイト代
次年度繰越金	92,456	422,623	
支出合計	3,433,656	3,467,672	
積立金			
ゆうちょ銀行	6,000,000	6,000,000	総会資料印刷・郵送代、監査報告書郵送代等を含む 同窓会封筒印刷 入学式アルバイト代
百十四銀行	3,004,882	3,005,221	

収入の部			
	2年度予算額	元年度決算額	内訳
会費収入	1,835,000	1,497,000	新入会員77名(在校生1名、卒業生1名含む) 利子等
雑収入	500	16	
繰越金	422,623	960,156	
積立金からの移動	0	1,000,000	
その他	0	10,500	
合計	2,258,123	3,467,672	
支出の部			
会議費	150,000	226,690	
(1) 総会	0	147,890	
会場代	0	0	
講演費	0	50,000	
軽食代	0	29,454	
雑費	0	68,436	
(2) 役員会	150,000	78,800	役員・評議員会 3回
旅費	60,000	34,000	役員会交通費
軽食代	90,000	44,800	延べ60名
事業費	420,000	525,476	
(1) 会報誌発刊	420,000	525,476	
(2) 同窓会名簿作成	0	0	
(3) 記念品作製	0	0	
事務費	340,000	335,278	
(1) 通信費	300,000	316,278	役員会案内発送代を含む
(2) 消耗品	20,000	15,000	
(3) 雑費	20,000	4,000	入学式アルバイト代他
入学式	7,000	1,000	
(1) 旅費	7,000	1,000	会長旅費他
卒業式	307,000	214,695	
(1) 旅費	7,000	0	
(2) 記念品・花束	300,000	214,695	
大学支援金	500,000	764,710	(大学支援金内訳) オープンキャンパス: 125,000円 保健師交流会: 25,000円 助産師交流会: 50,000円 同窓会の資料購入: 250,000円 臨床検査学科卒業生交流会: 30,000円 退職教員花束: 6,000円 (その他) クラス会開催助成: 50,000円
その他	50,000	977,200	
支出小計	1,774,000	3,045,049	
次年度繰越金	484,123	422,623	
支出合計	2,258,123	3,467,672	
積立金			
ゆうちょ銀行	6,000,000	6,000,000	
百十四銀行	3,005,476	3,005,221	

令和2年度事業計画

香川県立保健医療大学同窓会事業計画

1. 組織に関する事項

1) 会員増加対策

- (1) 在校生未加入者への働きかけ
- (2) 新入生に対する入会推奨

2) 役員・評議員会(年1回の開催)

3) 支部づくり、役員・評議員会構成の再構築による会員相互のつながりの強化

2. 同窓会活動に関する事項

1) 会報誌「大樹」発刊(17号)

2) 香川県立保健医療大学ホームページにおける同窓会コーナーの充実

3. 在校生に関する事業

1) 大学委員会への支援(事業担当者から企画書提出)

(1) 大学図書館への専門図書の購入支援

2) 大学行事への支援(事業担当者から企画書提出)

(1) オープンキャンパス(継続)

(2) 保健師研修会(継続)・助産師交流会(継続)・臨床検査技師交流会(継続)

3) 入学式、卒業式、終了式

(1) 卒業生・修了生への花束贈呈

(2) 学生会員の卒業・修了生への記念品贈呈

(3) 学生会員への入会記念品の配布(トートバックまたはマグカップ)

香川県立保健医療大学
同窓会通常会員入会状況

(令和3年1月8日現在)

歴代学校名	人数(人)
香川県衛生検査技師養成所	156
香川県臨床検査専門学校	348
香川県看護専門学校臨床看護学科	1,188
香川県看護専門学校公衆衛生看護助産学科	457
計	2,149
香川県立医療短期大学臨床検査学科	69
香川県立医療短期大学看護学科	68
香川県立医療短期大学専攻科	31
計	168
香川県立保健医療大学臨床検査学科	227
香川県立保健医療大学看護学科	712
香川県立保健医療大学助産学専攻科 ※	22
香川県立保健医療大学大学院 ※	9
計	970
臨床検査学科在学生(うち令和2年度新入会員)	68(19)
看護学科在学生(うち令和2年度新入会員)	194(52)
助産学専攻科(うち令和2年度新入会員) ※	2(2)
大学院(うち令和2年度新入会員) ※	3(3)
計	267
合計	3,554

※助産学専攻科生および大学院生のうち本学の卒業生ですでに同窓会に加入しているものは除く

国家試験合格状況・進路状況

多くの学生が県内の医療機関や施設に就職しました。

令和元年度	種 別	看護師	保健師	助産師	臨床検査技師
	受験者数	64 人	18 人	9 人	20 人
	合格者数	64 人	18 人	9 人	19 人
合格率	本 学	100.0%	100.0%	100.0%	95.0%
	全国平均	94.7%	96.3%	99.5%	83.1%

* 合格率の全国平均は、新卒者のみの全国平均です。

住所変更は、小野高速印刷(株)までご連絡下さい!!

TEL 0120-73-7288 FAX 0120-81-2299
E-mail:meibo@dousou.info